

各 位



平成 18 年 10 月 3 日

本店所在地 東京都港区六本木一丁目6番1号会 社 名 SBIホールディングス株式会社(コード番号8473 東証第一部、大証第一部)代表 者 代表取締役CEO 北 尾 吉 孝問い合せ先 責任者役職名 取締役常務 CFO 平 井 研 司

電話番号 03-6229-0100 (代表)

当社子会社による新ファンドの最終設定完了のお知らせ

当社の子会社である SBI キャピタル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 CEO: 北尾 吉孝)は、本年9月末日をもちまして同社が無限責任組合員となる「SBI Value Up Fund1号投資事業有限責任組合」の最終設定を完了いたしましたのでお知らせいたします。

SBI キャピタル株式会社は、2001 年の会社設立以来これまでに3本、計164 億円のファンドを運用してきており、本ファンドはSBI キャピタルの運用する4本目のファンドとなります。本ファンドは、日本および海外の機関投資家、事業会社等からご出資いただき、231 億円のコミットメント総額で投資活動を開始しております。

本ファンドでは、事業承継・MBO 等をはじめとする「バイアウト投資」、破綻企業への「再生投資」及び上場企業への「PIPEs (*)投資」の3つの形態の投資を積極的に推進して参ります。過去のファンドは投資家利回りで22%以上を達成しており、本ファンドでも投資家の皆様のご期待に添えるパフォーマンスを達成できるよう活動をしていく所存です。

なお、本ファンドからは、すでに「タリーズコーヒー」を国内で展開する「フードエックス・グロープ株式会社」(本社:東京都港区、代表取締役社長:松田 公太、以下「FXG」)へ投資を実行しており、同社の発行済み株式の約3割を取得済みです。SBI キャピタルは今後も優良案件への投資を積極的に実行し、これまでの様々な案件を通じて蓄積した Value Up のノウハウを活用することにより投資先企業の企業価値向上に努めていきたいと考えております。

以上

(*): PIPEs 投資 (Private Investment in Public Equities) とは、バイアウト・ファンド等の投資家が公開企業の上場を維持した状態で企業価値の向上を目指す投資を指します。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先: SBI キャピタル株式会社 03-6229-1610